

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 16名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

行政の基準はクリアできている。

常に法令で定められている人員基準を満たす配置ができている。

○業務改善

毎年、自己評価シートを活用し、アンケートを実施している。ホームページに公開している。
毎月さまざまな研修を行っている。

○適切な支援の提供

半年ごとに質問票・アセスメントシートを取り、面談を行って個別支援計画を作成している。
プログラムの立案をスタッフ全員で行っている。ミーティングを行っている。

長期休暇にはスケジュール変更や別プログラムを設定している。

個々の状況に応じた支援方法を考え作成している。

教室内共有を行っている。

○関係機関や保護者との連携

サービス担当者会議に責任者が参加している。

学校お迎え時に学校側と情報共有を行っている。

就学前に利用していた園などと相互に訪問し連携をとっている。

神戸市のOT巡回などで助言をいただいている。

子ども部会に入会し定期的に勉強会に参加している。

送迎時にご様子をお伝えしたり、電話相談・来室していただいたの相談に対応している。

講師を招いてセミナーを開催したり、神戸市のペアレントトレーニングのお便りを配布して情報をお伝えしている。

○保護者への説明責任等

保護者会を年に二回開催している。

毎月ニュースレターを発行している。

連絡帳や送迎時に教室内での様子をお伝えしている。

○非常時等の対応

月に一回、避難訓練を行っている。

マニュアルやハザードマップなどを活用している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

もう少し広いといいなと思う。

○適切な支援の提供

活動内容を学年の成長に合わせるなど、工夫が来ている。

児童館交流などを求めているので問題ない。

学校で交流があるから十分。

○保護者への説明等

連絡帳に書くと必ず返信があるので助かっている。

苦情を出したことがない。

○非常時等の対応

しっかり訓練し教えてくれているので身につけている。

○満足度

どのプログラムの日も楽しんで行っている。

活動内容やその日の気分で変わる。

細やかな気遣いで安心してお任せできている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組めた具体策

課外活動について:スタッフ全員が課外活動企画を立てられるように指導する。

スタッフ全員が各児童の特性を理解し、課外での児童の動きに対応できるようにする。

相談対応:保護者が気軽にご相談いただけるよう声掛けを行う。

○改善できた点・まだ残る課題

課外活動について:夏休みに全曜日十二回、課外活動に出かけることができた。祝日開室日に課外活動を取り入れることができた。

相談対応:ご来室いただいたり、お電話をいただいたりとお話できる時間を多く取ることが出来た。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

日々、ミーティングを行い、教室内での児童の情報共有に力を入れている。
集団療育活動の内容についてスタッフ全員が企画案を出し合っている。段階的に変化をつけたり、児童に合わせた課題を設定したりして、プログラムが慢性化しないように組んでいる。
日々の送迎時や連絡帳、電話などで保護者様からの相談や、情報共有を行っている。

○改善点

相談対応を継続することで、保護者様との信頼関係を深めていく。
これまで児童館で交流する機会がなかったので、地域交流の一環として児童館訪問などを検討していく。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

相談対応について

→相談ができる環境を整える。もっと気軽にご相談いただけるよう(保護者会や送迎時に)お声掛けを行う。

児童館・地域交流について

→児童館交流を望まない児童や保護者様がいるため、配慮しつつも、児童館や地域で行われているイベントについて情報提供を行う。ご同意いただけたら、児童館訪問企画や地域のお祭りの参観などを検討していく。

○1年間で取り組む具体策

相談対応について

→定期的に相談時間が取れるよう環境づくりを行う。

児童館・地域交流について

→地域イベントの情報にアンテナをはり、伝えていく。課外活動で交流できる場を企画する。

スマートキッズ